

【生徒の実態】

- 明るく素直で落ち着いた生活態度である。
- 自己を積極的に表現し発言することが苦手である。
- 行事に前向きに参加する生徒が多い。

【学校の教育目標】 新しい時代を生き抜く生徒の育成

- (1) 基本的な生活習慣を身につけた生徒の育成
- (2) 主体性をもつ生徒の育成
- (3) 一定の学力（基盤となる学力）を身につけている生徒の育成
- (4) 自ら社会に参画しようとする生徒の育成

【保護者の願い】

- 自主的に学習して、思いやりと規範意識のある人であってほしい。
- 家庭・地域に愛着をもった人であってほしい。

【地域の実態】

- 学校に対して協力的である。
- 地域で連携がとれている。
- ゲストティーチャーとして参加できる。

【総合的な学習の時間の目標】

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

- (1) 地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。
- (2) 地域の人、もの、ことの中から問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
- (3) 地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。

【地域の願い】

- 地域・社会に有用な人であってほしい。
- 今後の地域のあり方を考え地域に貢献できる人であってほしい。

大テーマ「持続可能な社会の実現に向けて」【探究課題と、探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力】

学年	第1学年 (50)	第2学年 (70)	第3学年 (70)	
探究課題 (中テーマ)	地域の風景、自然環境、福祉・ボランティアを探る。(3テーマ)	地域の観光、旅館・施設、事業所を探る。(3テーマ)	地域の課題を探り活性化のための提言をする。(世界的な視点で捉える。国際理解を含む)	
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・世の中には高齢者や身体に障がいがある人など、様々な人々が暮らしていること (多様性) ・身近な自然において、生物はその周辺の環境と関わって生活していること (相互性) ・身の周りの高齢者の暮らしを支援する人々や組織があり、対象者のニーズに合わせた具体的な取組を進めていること (創造性) などが分かる。 ・風景や自然環境は、様々な要因で常に変化する可能性が有り、一定ではないこと (有限性) ・情報を比較、分類、関連付けて考えるなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の観光に携わる旅館、施設、事業所の具体的な取り組みがわかる。 ・物産品などを生産する人、販売する人、消費する人といった様々な立場の人が存在すること。(多様性) ・商品は、多様な立場の人々の需要や供給のバランスによって成り立っていること (相互性) ・我が国の観光業は様々な課題を抱えており、その課題が自分たちの生活と関わっていること ・様々な人々の立場に立って身の周りのものを見つめ直し、生活を工夫すること (連携性) ・情報を多面的に見る、考えを具体化するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの人口の減少、少子高齢化が影響を及ぼしていること。(一般共通性、地方特殊性) ・地域を活性化するためのアイデアや具体的な取組があること。(創造性) ・まちづくりを推進する人々や機関が存在し、互いに関わりながら役割を果たしていること。まちの活性化のために尽力してきたこと (連携・努力) ・価値観や生活環境の変化に伴う多様化が影響していること (背景、原因、影響、関係性) ・人々が安心して快適に道具や建物を使用したり、まちで生活したりできること (公平性) ・情報を構造化する、抽象化するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。 	
思考力、判断力、表現力等	課題の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちを取り巻く社会に広く目を向けて、活動の意図や目的を明確にしたりして課題を見出している。 ・解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てている。 		
	情報の収集	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集し適切な方法で蓄積している。 ・他者の意見や課題解決の方向性から、必要な情報を取捨選択している。 		
	整理・分析	<ul style="list-style-type: none"> ・問題状況における事実や関係を把握し、分類して多様な情報にある特徴を見付けている。 ・事象や考えを比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析している。 		
	まとめ表現	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。 ・国語科や外国語科等で身に付けた技能を活用して表現している。 		
	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。 ・振り返りの観点を自己で設定して活動を振り返り、次の活動に生かそうとしている。 		
学びに向かう力、人間性等	主体性	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意思で目標をもって課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。 		
	協働性	<ul style="list-style-type: none"> ・自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。 		
	自己理解	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な活動を通して、自分の生活及び地域との関わりを見直し、自分の特徴やよさを理解しようとしている。 		
	他者理解	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとしている。 		
	社会参画	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組むとともに、積極的に地域の活動に参加しようとしている。 		

【学習活動】

- ・地域の人、もの、ことを生かした探究的な学習活動を行う。
- ・第1・2学年は課題としてテーマ研究を行い、第3学年はアイデア提案タイプとして行う。
- ・全体の大テーマとして「持続可能な社会の実現に向けて」中テーマとして第1学年、第2学年とも3つのテーマから選択する。第3学年では、世界的な視点から地域の課題を探る。小テーマとして探究チームで課題を設定する。
- ・全学年とも体験活動を積極的に取り入れる。
- ・文化発表会で中間発表、3学期にプレゼン等で発表を行う。

【指導方法】

- ・生徒へ配布したガイドブックを参考に指導・支援する。
- ・体験活動を重視する。
- ・各教科等との関連を重視した指導を行う。
- ・生徒の課題意識を連続的に発展させる支援する。
- ・協働的な探究活動の充実を図る。
- ・言語活動を重視する。
- ・ポートフォリオ形式でファイルに保存させる。
- ・キャリア・パスポートと連携し、活用する。

【指導体制】

- ・全校指導体制を組織する。
- ・余裕教室及び学校図書館の整備・充実を図る。
- ・学年団を基本としたチーム・ティーチングを行う。
- ・学年団外の教職員による支援体制を整える。
- ・地域のひと・もの・ことを有効に活用する。
- ・地域の人材バンクを樹立し運用させる。
- ・振興局、温泉協会、観光協会と密に連絡を取り、連携していく。

【学習評価】

- ・観点別学習状況を把握するための評価規準を設定する。
- ・個人内評価を重視する。
- ・ポートフォリオを活用した評価の充実を図る。
- ・自己評価、相互評価を行う。
- ・指導と評価の一体化を充実させる。